

災害時に役立つ備蓄品

1. 本時の目標

災害時をイメージし、自分や家族にとって必要な物を積極的に備えることができる。

2. 準備する物

防災ガイド、ワークシート。(教師用サイトでダウンロードできます。)

3. 本時の流れ

災害時、どのようなものが必要になるか考える。

↓

自身の生活を振り返り、どの程度の量を備える必要があるのか考える。

↓

個人的に必要な備蓄について考える。

↓

オリジナル防災 BOX を作る。

↓

今日の学習で気づいたこと、学んだことを書く。

	学習活動	指導内容および指導上の注意点
導入	<p>①災害時、どのようなものが必要になるか考える。ふだん何を使って生活しているのか思い出す。</p> <p>②本時のねらいを理解する。</p>	<p>電気、ガス、水道が止まった状況で必要なものは何か考え、数名発表する。</p> <p>水道が止まればトイレが使えなくなり、電気が止まればエアコンや冷蔵庫が使えなくなるというように、いくつか例を挙げてイメージしやすくする。</p> <p>本時のねらいを提示する。</p>
	<p>備蓄の大切さを知り、災害時に自分や家族に必要なものを想定しよう。</p>	<p>ふだんあたり前に使っているものが使えなくなったとき、どれほど困るのか気づけるようにする。</p>
展開	<p>③ワークシート1に記入する。備蓄する量について考える。</p> <p>④ワークシート1の〈ワンポイントクイズ〉に記入する。 ワークシート2に個人的にないと思うもの、あるとよいと思うものを記入する。</p> <p>⑤ワークシート3に記入する。家族に必要なものは何か考え記入する。</p>	<p>ワークシートを配布する。1日にどれくらいの量の備蓄が必要なのか、p.14を参考に考える。</p> <p>教師用のワークシート（解答入り）を見て、全体で確認するときには補足説明を入れる。</p> <p>災害時、娯楽があるとよいという意見もあるが、周りのように遠慮する必要があることを伝える。</p> <p>家族に必要なものがあれば記入し、何が必要かわからない場合は、帰宅後にヒアリングするよう伝える。</p> <p>ペットを飼っている場合は、ペットの分も記入する。</p>
	<p>⑥今日の授業を振り返り、ワークシート4に本時のねらいと照らし合わせて学びのまとめを記入する。</p>	<p>ワークシート2と3を参考に、防災 BOX に備蓄品を入れるよう宿題を出す。</p> <p>BOX に入りきらない場合は、優先順位をつけ必要な順に備えるよう伝える。</p>
まとめ		